

第58回「耳の日」実施報告書

平成25年3月3日

一日耳鼻都道府県地方部会から

都道府県	無料相談の実施状況	講演会・映画会などの実施状況	報道機関の協力状況
北海道	<p>耳の日記念「耳の無料相談会」を以下の要領で行った。</p> <p>◎相談会の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 耳と聞こえについての医療相談 2. 聴力測定 3. 福祉相談 4. 補聴器の相談 <p>◎会場</p> <p>釧路(平成25年2月17日(日)) 函館(平成25年2月24日(日)) 旭川(平成25年2月21日(木)) 札幌(平成25年3月1日(金))</p>	なし	北海道新聞を通じて宣伝。 当日は北海道新聞社の取材が入った。
青森県	なし	<p>講演会を以下の要領で行った。</p> <p>「市民健康づくり講座」 日時:平成25年3月7日(木) 13:30～15:00 場所:八戸ポータルミュージアム「はっち」 演題名:「こどもの中耳炎、大人の難聴」 講師:洲崎洋</p>	なし
岩手県	<p>耳の日無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時:平成25年3月3日(日) 11:00～13:00 場所:岩手医大循環器センター8階 後援:岩手県・盛岡市・岩手医大・及び各医師会 実施者:医師30名・協賛者8名</p> <p>実施内容:当日9時から10時までに受付後、医師が個別に問診・説明し、今後のアドバイスをを行った。個人の結果はコピーして相談者にお渡しした。今回は岩手県開催20周年記念企画として、講演会と同日開催であり、例年の診察・聴力検査は行わなかった。相談者41名(男性23名・女性18名 30歳～93歳)相談内容は難聴について42%・耳鳴について36%・その他聞き取り・めまい・耳漏など。</p>	<p>岩手県開催20回記念講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時:平成25年3月3日(日) 10:00～11:00 場所:岩手医大循環器センター9階講義室 後援:相談会と同じ</p> <p>プログラム: 10:00～「難聴の遺伝子診断と人工内耳」 岩手医大耳鼻咽喉科教授 佐藤宏昭 10:30～ビデオを使ったお話 「楽しく聞いてレッツコミュニケーション!」 企画・制作・出演 岩手県地方部会 話 小田島葉子 ビデオには字幕をつけ、当日は岩手県立視聴覚障がい者情報センターから要約筆記4名がお手伝いして下さいました。聞こえに自信のない方にも解り易い講演と好評だった。約100名が参加。</p>	平成25年2月24日(日)の岩手日報に一面全面広告を掲載した。主に地方部会の開業医中心に、ほぼ目標40件の広告協力が得られた。その他、盛岡市及び周辺地域の広報・タウン誌・医師会誌などを通して宣伝。また、岩手県地方部会のホームページ上で前回の様子を写真を交えて掲載し宣伝した。
宮城県	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成25年3月3日(日)仙台市急患センター・仙台市医師会館2階ホールにて11:30～12:00の間に無料医療相談コーナーを設け、計7名の耳鼻咽喉科医の協力を得て7名ほどの相談に応じた。 2. 平成25年3月3日(日)～3月9日(土)の9:00～21:00、宮城県地方部会のホームページ上で無料医療相談を行った。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成25年3月3日(日)仙台市急患センター・仙台市医師会館2階ホールにて10:00～11:00の間に講演会を行った。今年はせせらぎ耳鼻科・志賀伸之医師の司会のもと、「口の中のできもの」仙台医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科医長 舘田勝医師、「嚥下のしくみと誤嚥性肺炎の予防」仙台市立病院耳鼻いんこう科部長 香取幸夫医師の講演が行われた。その後、11:00～11:30の間に質疑応答の時間を設けた。聴衆は35名で盛況であった。 2. 宮城県地方部会ホームページ上で、耳鼻咽喉科全般にわたる20項目の演題のバーチャル講演会を公開した。 	ポスターを仙台市営地下鉄駅(30箇所)、各医療機関(県内の各病院・開業医)、東北大学病院各所、講演内容を要約したチラシを仙台メディアテーク(仙台市立図書館併設)及び各名義後援先(宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県病院薬剤師会、河北新報社、朝日新聞社仙台支局、毎日新聞社仙台支局、読売新聞社東北総局、産経新聞社東北総局、NHK仙台放送局、仙台放送、TBC東北放送、KHB東日本放送、ミヤギテレビ、Date fm、仙台リビング新聞社、せんだいタウン情報、ラジオ3、ラジオ石巻、FMいずみ、エフエムいわぬま)などに配布した。また、当日会場で配布するチラシを事前に県内の関連病院と開業医に配布し、待合室などで患者さんに渡した。後援先に報道依頼を事前に行ったため、新聞(朝日新聞・河北新報)、情報誌(河北Weekly)からの協力を得て案内を行った。週1回河北新報の朝刊と夕刊に広告を載せ、週1回河北Weeklyなどにも催しの案内をした。

秋田県	右記市民公開講座において行った。	市民公開講座を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 13:00~15:00 場所:秋田市にぎわい交流会館(AU)あう3F 多目的ホール 1. 「耳の役割」 松本敏江 2. 「人工内耳のリハビリテーションについて」 水野知美 3. 「難聴の遺伝子診断について」 佐藤輝幸 4. 専門医による無料相談 30名 5. 補聴器相談室による聴力検査 6. 人工内耳・補聴器の展示と調整 70名参加	市民公開講座の実施について、記事掲載(秋田市広報・秋田魁新報社フリーペーパー マリマリ・河北新報・読売新聞)。
山形県	「耳の日の無料相談」を山形市医師会、身体障がい者更生相談所などの協力の下に、平成25年3月3日(日)、14:00~17:00まで、山形市霞城公民館において行った。医師3人で相談にあたり、相談者は26人であった。	なし	1. 山形市の広報、朝日新聞、山形新聞に「耳の日の無料相談」についてのお知らせが掲載された。 2. 庄内地区では荘内日報に「耳の日」の記事が掲載された。
福島県	電話・ファックスによる相談室を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 14:00~16:00 場所:福島市と郡山市の2カ所で実施した。 相談件数: 福島 9件(電話 8件、ファックス 1件) 郡山 3件(電話 2件、ファックス 1件) 内容: 耳鳴5件、難聴3件、補聴器2件、耳垢1件、滲出性中耳炎1件	なし	地方紙「福島民報」「福島民友」に耳の日の意見広告を掲載した。(平成25年3月3日付) 内容: 1. 医療機関の広告(福島民報 39医療機関、福島民友 28医療機関) 2. 大森孝一地方部会長(福島医大教授)の記事 1)耳の日とは 2)生まれた時に聞こえの検査をしましょう 3)子供の後ろからささやき声で呼びかけて 4)耳が聞こえにくくなったら 5)耳が痛くなったら 6)突然、耳が聞こえなくなったら 7)補聴器と人工内耳 3. 「耳の日相談室」 平成25年3月3日(日) 14:00~16:00 開設場所:福島、郡山 (電話・ファックスによる相談室の案内)
茨城県	なし	茨城県地方部会ホームページ上にて、「耳の日に寄せて」という啓発活動を実施した。 http://www.geocities.jp/ibarakijibika	ポスターの配布、掲示を行った。
栃木県	平成25年3月3日(日)11:00~16:00まで、東武宇都宮百貨店にて実施した。佐野厚生総合病院、自治医科大学、獨協医科大学より各1名の耳鼻咽喉科専門医が相談医を担当した。相談者総数は25名(男性6名、女性19名)で、例年よりかなり少なかった。年齢分布で見ると60歳代(8名)が最多で、次いで40歳代(6名)、50歳代(4名)であった。相談内容では耳鳴(9件)が最も多く、以下めまい(5件)、難聴(4件)であった。他、耳以外の相談が1件あった。	なし	1. 「下野新聞」平成25年2月22日(金)20面紙上において、「耳」の取材記事とともに無料相談の案内が掲載された。 2. 無料相談会場である東武宇都宮百貨店の協力により、新聞折り込みチラシに「無料相談」の案内が掲載された。
群馬県	平成25年3月3日(日)9:00~12:00まで、群馬大学医学部附属病院内「刀城会館」で、耳鼻咽喉科専門医による無料相談会を実施した。主な内容は、難聴の原因と治療、補聴器相談、人工内耳の相談、耳鳴りの原因と治療法についてであった。受診された患者数は44名と例年になく多くの方に来ていただいた。	なし	1. 上毛新聞、朝日新聞に掲載。 2. 群馬大学 長井今日子医師が、群馬テレビの番組「難聴と治療法-特に補聴器に関して-」に出演した際に宣伝した。

埼玉県	なし	第42回「耳の日」記念のつどい講演会を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 13:30～ 場所:埼玉県県民健康センター2F 大ホール 内容および講師: 1. 「聴覚障害児のコミュニケーション・言語発達の支援」 目白大学保健医療学部言語聴覚学科 学部長・教授 齋藤佐和 2. 「難聴の遺伝子診断と最新の手術治療」 虎の門病院 耳鼻咽喉科部長・聴覚センター長 熊川孝三	1. 埼玉県広報誌「埼玉県民だより」への掲載。 2. 東京新聞「ショッパー」への掲載。
千葉県	耳の健康と補聴器に関する無料相談会を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 14:30～17:00 場所:千葉市総合保健医療センター 実施者:補聴器相談医4名と日本補聴器販売店協会千葉県支部より支援者20名 相談者:37名 実施内容:問診、診察、聴力検査を全例に施行後、希望者に補聴器相談を行った。 後援:千葉市医師会、千葉県医師会	市民公開講座を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 12:30～14:30 場所:千葉市総合保健医療センター 講師および内容: 1. 東邦大学佐倉医療センター耳鼻咽喉科教授 鈴木光也「難聴に対する治療選択-保存治療か、手術か-」 2. 千葉大学耳鼻咽喉科講師 櫻井大樹「花粉症対策-セルフケアから最新治療まで-」 後援:千葉市医師会、千葉県医師会 参加者:50名	1. 千葉市広報と朝日新聞の千葉県欄に記事が掲載された。 2. 千葉市医師会の耳鼻咽喉科施設に耳の日の行事についてのポスターとパンフレットを配布した。
東京都	平成25年3月3日(日)に第58回「耳の日」補聴器・難聴無料相談会を、有楽町朝日スクエア(有楽町マリオン11階)において開催した。当日は58名の相談者が訪れ、都内14施設からの相談医、日本補聴器工業会、日本補聴器販売店協会の協力と、朝日新聞社の後援により盛況下に行われた。	なし	朝日新聞社の後援を受けており、相談会の実施に先立ち、朝日新聞に相談会開催の記事が掲載された。その記事により相談者の募集を行った。
神奈川県	無料相談会を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日)10:00～17:00 場所:神奈川県総合医療会館 内容: 1) 募集のポスターを作成し、県内各医療機関や老人施設、横浜市各区役所等に貼付し、また、新聞、タウン誌にも広告を掲載した。 2) 78名の相談者が参加した。耳鼻咽喉科医師が問診、耳の診察を行った。 3) 認定補聴器技能者が聴力検査や補聴器の試聴、簡単なフィッティングを行った。 4) 耳鼻咽喉科医師と認定補聴器技能者が連携して、相談者の補聴器の装用経験に基づき、助言を行った。 ・耳鼻咽喉科医師 12名 参加 ・認定補聴器技能者 22名 参加 ・補聴器展示(メーカー3社)	なし	・新聞社3社(朝日、毎日、神奈川) ・タウン紙
新潟県	「耳の日」無料相談会を以下の要領で行った。 1. 日時:平成25年3月1日(金) 場所:新潟ユニゾンプラザ 内容:耳鼻咽喉科専門医による無料相談 2. 日時:平成25年3月2日(土) 場所:三条市総合福祉センター 内容:耳鼻咽喉科専門医による無料相談	「耳の日」市民公開講座を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月1日(金) 場所:新潟ユニゾンプラザ 内容:耳鼻咽喉科専門医による公開講座 「耳のしくみと難聴について」 「耳の病気あれこれ」	1. 「新潟日報」で広告(有料)。 2. 「中央区だより」で広告。 3. 三条新聞に掲載。

富山県	平成25年3月3日(日)に富山県総合福祉会館・サンシップとやまにおいて「耳の日無料相談会」を実施した。相談会には25名が訪れ、日耳鼻会員(開業医2名+大学所属医師ら)だけでなく、看護師、聴覚総合支援学校教員、言語聴覚士、認定補聴器技能者、要約筆記サークルなどのスタッフ41名の参加を得て、盛況のうちに終わった。関連機関の連携として、年に一度のイベントとして定着している。	左記無料相談会後に、「市民公開講座」を実施した。30名の市民参加者を得て、「ここが聞きたい耳鼻科の病気」というタイトルで、耳以外の疾患についてもシンポジウム形式で講演を行った(司会:将積日出夫、講師:麻生伸、渡辺行雄)。その後、質疑応答を受けつけ、熱心な討論があった。	新聞、ケーブルテレビ等の他、情報誌などにも掲載して、事前に宣伝を行った。今年度は事前に行われた北日本新聞社ホールで開催された市民向け公開講座にて、参加者約250名に対し、無料相談会・公開講座のポスターを配布し宣伝した。事前の新聞記事広告(北日本新聞、富山新聞)のほか、当日の相談会の内容も新聞記事など(北日本新聞)で紹介された。
石川県	「耳の日」難聴相談会を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 9:00~11:00 場所:金沢歌劇座 大集会室 内容:補聴器所有者は6人、装用しても会話、テレビ、会合、講演が聞き取りにくいとの訴えがあった。補聴器非保持者は全員聞き取りにくさ、不便さの訴えがあった。1人は3歳児で、両親へ言語外来受診についても説明した。来場者総人数45人。相談希望者、及び医師への相談者は19組。相談医は6人で対応した。	左記無料相談会後、11:00~11:40まで 認定補聴器技能者による講演「補聴器との上手なつきあい方」、医師による講演「耳のはなし」を行った。	1.平成25年3月3日(日)当日に、北国新聞、北陸中日新聞への広告掲載。 2.ポスターの県内各病院・診療所への配布。
福井県	右記講演後、無料個別相談を実施した。相談者12名	耳の日講演会を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月2日(土) 場所:福井県社会福祉センター 内容:「あなたの耳は大丈夫?」 福井大学 山田武千代 一般参加者 58名	福井新聞、日刊県民福井、中日新聞に掲載。
山梨県	右記講演の後に相談会を実施した。地方部会長と講演者と数名の耳鼻咽喉科専門医による講演内容並びに難聴を中心とした耳鼻咽喉科・頭頸部外科の病気、補聴器に関する相談会を行った。補聴器技能者への相談者も数名おり有意義であった。相談会には10数名程が残られ、さまざまな相談があった。	耳の日フェスタ 耳の日記念講演会を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 場所:岡島ローヤル会館 8階「ゴールドルーム」 内容: 講演会は、100名程の来場者があった。埼玉医科大学耳鼻咽喉科教授 池園哲郎先生による「きこえを良くする手術—人工内耳のしくみ—」、坂本圭先生による「補聴器のはなし」についてわかりやすく説明していただき有意義であった。また、山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科での人工内耳装用者の体験を発表をしていただき、人工内耳に対する理解をさらに深められた。	1.後援依頼:山梨県・山梨県医師会・甲府市・山梨放送・テレビ山梨・NHK甲府放送局、タウン誌掲載依頼:甲府市・大月市・昭和町・甲斐市・南アルプス市等 2.ポスターの配布状況:病院・診療所(128枚)、各教育委員会を通じて小・中・高等学校(340枚)、県庁・保健所(12枚)、市町村役場(34枚)、後援・協力機関(23枚) 3.チラシの配布状況:県医師会員(1200枚)、病院・診療所(1310枚)、学校(1231枚)、県庁・保健所(120枚)、市町村役場(141枚)、後援・協力機関(932枚)、当日配布分(50枚) 4.各報道機関に文書通達で記念事業の宣伝と取材の要請をした。
長野県	無料相談会を以下の2施設で行った。 1.日時:平成25年3月4日(月) 15:00~16:00 場所:信州大学附属病院 2.日時:平成25年3月4日(月) 14:00~15:00 場所:信州上田医療センター	なし	耳の日無料相談実施の連絡(長野県記者クラブ)。
岐阜県	右記講演会において耳疾患に関する無料相談会を行った。	第19回「耳の日のつどい」を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 場所:じゅうろくプラザ 内容:耳疾患および補聴器に関する講演会	岐阜新聞・岐阜放送

静岡県	なし	「耳の日」市民公開講座を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月2日(土) 場所:サンウェルぬまづ 大会議室 内容: 1.「治る難聴、治らない難聴」 沼津市立病院 耳鼻いんこう科 竹山昌孝 2.「耳から来るめまい、こないめまいーよくあるめまいと危険なめまい、その見分け方と予防の仕方ー」国際医療福祉大学 熱海病院 耳鼻咽喉科 原田竜彦	SBS静岡放送
愛知県	なし	1.テレビ健康教育番組で講演した。 日時:平成25年2月23日(土) 7:00~7:30 番組名:テレビ愛知「健康ワンダフル」 提供:愛知県医師会 内容:「こどもによくある耳の病気」 愛知医科大学耳鼻咽喉科教授 植田広海	1.FM AICHI 日時:平成25年2月20日(水) 7:30~8:00 番組中盤の旬の話題を紹介するコーナーで「耳の日」を宣伝した。 2.平成25年3月上旬に「急性中耳炎」の健康教育リーフレットを耳鼻咽喉科医療機関外来窓口で配布し、中耳炎の治療、後遺症の発生予防に対する啓発を行った。 3.中日新聞 平成25年3月3日(日)朝刊補聴器広告のページに名古屋大学耳鼻科医局長のインタビュー記事が掲載され、その中で「耳の日」を宣伝した。
三重県	右記講演会後に無料相談会を行った。21名の相談があった。	市民公開講座を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 場所:桑名メディアライブ 内容: 「子どもの耳と聞こえのはなし」増田佐和子 「成人の耳の病気」竹内万彦 52名の参加があった。	桑名市の広報へ掲載。
滋賀県	「耳の無料相談会」を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月17日(日) 場所:滋賀県障害者更生相談所(草津市) 内容: 1.耳鼻咽喉科医師2名による検診、助言、指導 2.聴能技師による聴力検査、補聴器適合検査および装用指導 3.補聴器の簡単な修理、点検、聴能機器などの展示	なし	なし
京都府	相談会を以下の要領で行った。 1.耳の相談会 日時:平成25年3月3日(日) 場所:京都産業会館 シルクホール 内容: 1)耳鼻咽喉科医師による耳に関する相談 相談者:37名 2.耳と補聴器の相談会 日時:平成25年3月7日(木) 場所:京都市身体障害者リハビリテーションセンター 内容: 1)耳鼻咽喉科医師による医療相談 2)言語聴覚士による聴力検査 3)認定補聴器技能者による補聴器に関する相談 相談者:31名	耳の日記念公開講演会を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 場所:京都産業会館 シルクホール 内容: 主題 「聞こえを大切に」 1.「聞こえの仕組みと難聴、めまい」 伊藤壽一(京都大学) 2.「補聴器のしくみと最近の話題」 坂口博史(京都府立医科大学) 参加者:180名	京都市民しんぶん・京都新聞

大阪府	<p>1. 第49回耳の日特別相談会を平成25年2月24日(日)に御堂会館(南御堂)で大阪市立大学と東神実業の共催で行った。相談会への参加者は全体で156名であり、そのうち医師との相談を行った人は90名であった。</p> <p>2. 「第20回補聴器無料相談会」を平成25年3月3日(日)にハートンホールで大阪府耳鼻咽喉科医会の主催で行った。相談者は69名であった。</p>	<p>平成25年3月3日(日)、毎日新聞オーバルホールにて第17回耳の日セミナー「耳の健康を考える」を行った。</p> <p>主催は大阪府耳鼻咽喉科医会で、一般社団法人大阪府耳鼻咽喉科医会副会長・中山堯之医師、近畿大学医学部耳鼻咽喉科講師・齋藤和也医師、大阪市立大学大学院医学研究科耳鼻咽喉病態学教授・山根英雄医師が講演した。参加者は480名であった。</p>	<p>1. 毎日放送ラジオ「ドクターM」にて放送、平成25年2月2日(土)、16日(土)に一般社団法人大阪府耳鼻咽喉科医会理事・中村晶彦医師が講演した。</p> <p>2. NHKラジオ「関西ラジオワイド・季節の健康」にて放送、平成25年2月6日(水)、20日(水)に大手前病院耳鼻咽喉科部長・川島佳代子医師が講演した。</p>
兵庫県	<p>耳の日無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>1. 神戸大学医学部附属病院 日時:平成25年3月4日(月) 14:00～16:00 場所:耳鼻咽喉科外来 相談者:9名</p> <p>2. 兵庫医科大学 日時:平成25年3月2日(土) 9:00～10:30 場所:耳鼻咽喉科外来 相談者:3名</p> <p>3. 神戸市立医療センター中央市民病院 日時:平成25年3月7日(木) 9:00～11:30 場所:耳鼻咽喉科外来 相談者:7名</p> <p>4. 宝塚市「第23回耳の日の集いと相談会」 日時:平成25年3月3日(日) 10:00～11:30 場所:宝塚市総合福祉センター 内容:「耳のことなんでも相談」 辻孝教(宝塚市) 相談者:20名</p> <p>5. 明石市「耳の日の集い」 日時:平成25年3月7日(木) 14:00～15:00 場所:明石市医師会館 相談者:10名</p> <p>6. 神戸市「耳の日講演会および相談会」 日時:平成25年3月10日(日) 13:30～16:00 場所:神戸市勤労会館 7F大ホール 相談者 88名</p>	<p>1. 明石市「耳の日の集い」 日時:平成25年3月7日(木) 14:00～15:00 場所:明石市医師会館 内容:講演会 柴田敏章 参加者:40名</p> <p>2. 神戸市「耳の日講演会および相談会」 日時:平成25年3月10日(日) 13:30～16:00 場所:神戸市勤労会館 7F大ホール 内容:講演会 井之口豪、勝沼紗矢香 参加者:190名</p>	<p>1. 神戸新聞紙上座談会 平成25年2月24日(日)朝刊掲載(藤原敬三、尾関安英、李進隆)。</p> <p>2. 平成25年2月24日(日)神戸新聞朝刊に2013年耳の日の行事予定を掲載。</p> <p>3. 阪神地区・ケーブルテレビ放送 平成25年2月25日(月)～3月15日(金)「症状からみた耳の病気」武藤俊彦(西宮市)</p>
奈良県	<p>無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時:平成25年3月7日(木) 場所:奈良県医師会館(橿原市) 主催:日耳鼻奈良県地方部会、奈良県耳鼻咽喉科医会、奈良県医師会耳鼻咽喉科部会三部会 協力者:日耳鼻奈良県地方部会員1名、言語聴覚士1名および全国補聴器販売店協会奈良県支部の補聴器説明員数名、奈良市要約筆記サークル、奈良県医師会職員 内容:無料相談、聴力検査と耳の病気の個人相談や補聴器装用に関する指導などを行った。 参加者:約80名</p>	<p>講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時:平成25年3月7日(木) 場所:奈良県医師会館(橿原市) 主催:日耳鼻奈良県地方部会、奈良県耳鼻咽喉科医会、奈良県医師会耳鼻咽喉科部会三部会 内容: 「どうしたら聞こえる?—手術、補聴器、人工内耳—」奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室教授 細井裕司</p>	<p>奈良県の市町村広報紙、奈良新聞に無料相談・講演会の予告が掲載された。</p>

和歌山県	無料相談を各病院(7施設)で実施した。相談者は5名であった。 1. 和歌山県立医科大学附属病院耳鼻咽喉科(平成25年3月1日(金)) 2. 日本赤十字和歌山医療センター耳鼻咽喉科(平成25年3月1日(金)) 3. 和歌山労災病院耳鼻咽喉科(平成25年3月6日(水)) 4. 済生会有田病院耳鼻咽喉科(平成25年3月4日(月)) 5. 国保日高総合病院耳鼻咽喉科(平成25年3月1日(金)) 6. 社保紀南病院耳鼻咽喉科(平成25年3月1日(金)) 7. 公立那賀病院耳鼻咽喉科(平成25年3月5日(火))	なし	県広報室より、新聞社・放送局・情報誌等に資料を配付していただき、数社に無料相談実施日を掲載していただいた。
鳥取県	なし	なし	1. 平成25年3月3日(日) 朝日新聞掲載「耳の日」 2. 平成25年1月 TV放送「聴こえと難聴について」
島根県	平成25年3月2日(土)「耳の日」講演会終了後、無料相談会を実施した。	平成25年3月2日(土)「聞こえの仕組みと耳の病気ー小児から高齢者までー」をテーマに、出雲市で講演会を実施した。 講師：川内秀之(島根大学医学部耳鼻咽喉科教授)	平成25年2月26日(火)山陰中央新報にて、3月2日(土)の講演会、無料相談会の開催告知が掲載された。
岡山県	平成25年3月3日(日)岡山衛生会館にて5名の耳鼻科医が「耳の病気相談」「人工内耳相談」「補聴器相談」を実施した。約40人の相談に応じた。また6名の認定補聴器技能者が「補聴器の無料チェック・クリーニング」を行い、約60人の希望があった。また7名の言語聴覚士が「無料聴力検査」を行い、約60人の希望があった。	平成25年3月3日(日)岡山衛生会館にて「平成24年度耳の日の集い」を開催し、三重響学校教諭 桜井誠人先生の講演「私の思い、私の願いー難聴者の一人としてー」と、映画「ホームランが聞こえた夏」(字幕付き)の上映があり、約200人の参加者があった。	山陽新聞社とNHKの協力があった。
広島県	第20回難聴・補聴器よろず相談会を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 受付時間 10:00~12:00 場所:神石高原町保健福祉センター 主催:日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会、広島県耳鼻咽喉科医会 後援:広島県、神石高原町 協力:広島県身体障害者更生相談所 入場者数:20名 その他参考となる事項: 医師7名、言語聴覚士2名、広島県身体障害者更生相談所職員4名、補聴器販売店2社	なし	朝日新聞、読売新聞、RCC中国放送に広報を依頼した。

山口県	なし	<p>耳の日市民健康講座を以下の要領で行った。</p> <p>1. 日時:平成25年3月2日(土) 13:00～15:00 場所:ニューメディアプラザ山口 内容: テーマ「耳鼻咽喉科領域のアンチエイジング」 1. 「のどの老化とアンチエイジング」山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野 原浩貴 2. 「老化と聞こえ」山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野 菅原一真 3. 「高齢者に多いめまい・ふらつき」山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野 橋本誠 4. 「嗅覚味覚障害と加齢の関係ー嗅覚障害は認知症のサインー」山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野 御厨剛史</p> <p>2. 日時:平成25年3月2日(土) 14:00～ 場所:下松市スターピアくだまつ2階展示ホール 内容: 1. 「補聴器購入における福祉制度について」 鼓ヶ浦こども医療福祉センター耳鼻咽喉科 池田卓生 2. 「味覚について」 周南記念病院耳鼻咽喉科 平田加寿子 3. 「副鼻腔炎について」 小林耳鼻咽喉科 小林究 4. 「花粉症について」 たむら耳鼻咽喉科 田村光司</p>	「耳の日」の広報が地方紙(宇部日報)に掲載された。
徳島県	なし	<p>耳の日講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時:平成25年3月3日(日) 場所:阿波観光ホテル 内容:「高度難聴と人工内耳」 徳島大学 武田憲昭教授</p>	なし
香川県	右記講演会終了後に補聴器相談を行った。	<p>耳の日記念講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時:平成25年3月3日(日) 場所:香川県社会福祉総合センター 内容: 1. 難聴のはなし 2. 補聴器の上手な買い方・使い方</p>	<p>1. 新聞、地方自治体広報誌に耳の日記念講演会開催の案内が掲載された。 2. 健康新聞(四国新聞社月1回発行)に耳の日特集記事が掲載された。</p>
愛媛県	なし	<p>「第25回愛媛ヒアリング研究会(EHA)」を以下の要領で行った。</p> <p>日時:平成25年3月24日(日)13:00～16:00 場所:愛媛大学南加記念ホール 内容:「超音波と軟骨伝導による聴覚の基礎と補聴器、スマートフォンへの応用」、「補聴器装用者とその家族の支援について」などの講演があった。</p>	なし
高知県	高知県地方部会のホームページ上で、インターネット無料相談を実施した。	なし	高知新聞へ「加齢による難聴」についての記事を掲載した(インターネット無料相談の案内についても併せて掲載)。

福岡県	<p>1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会（五孔会）主催で第25回「耳の日」イベントを平成25年3月3日（日）、アクロス福岡において開催し、多くの来場者が訪れた。コーナー企画としては、昨年同様、睡眠時無呼吸症候群、内視鏡による鼓膜供覧、補聴器の相談、ティンパノメトリー、聴力検査、花粉症相談、人工内耳、薬剤師による薬の相談、中途失聴難聴者福祉協会による相談、耳鼻科専門医による無料健康相談、子供の聞こえとことばの相談、講演などを行った。また、福岡県言語聴覚士会が後援団体として参加し「大人のこぼれと嚥下障がい相談」のコーナーも行った。また、無料相談は、5時間で136名の相談者が訪れ、のべ30名の耳鼻咽喉科専門医が対応した。各コーナーは今年も昨年を上回る相談者の方が訪れ、盛会となった。また、福岡県地方部会は後援として参加した。</p> <p>2. 北九州耳鼻咽喉科専門医会では、平成25年3月3日（日）に東部障害者福祉会館「ウェル戸畑」において北九州市難聴者・中途失聴者協会と共催で「平成25年難聴者 耳の日記念市民集会」を開催し、約80名近くの方が来場された。今年は、記念講演と耳鼻咽喉科専門医による耳に関する相談などを約30名の方々に行った。無料相談には、耳鼻科医4人で対応し、耳の診察と聴力検査の結果で今後の方針等をアドバイスを行った。</p>	<p>1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会の主催で、第25回「耳の日」講演会を平成25年3月3日（日）にアクロス福岡で開催した。講演は4題で、福岡市薬剤師会 夏山絢子先生は「スイッチOTCの抗アレルギー薬について」、福岡県言語聴覚士会 吉永明史先生は、「おいしく安全に食べる・食べてもらうために」と題し、摂食・嚥下障害への対応を、NPO花粉情報協会理事で三重中央医療センター耳鼻咽喉科 伊藤由紀子先生は「花粉症の予防対策」としてなどそれぞれ役に立つ説明があった。また、五孔会の 熊本芳彦先生は「耳・顔面・頸部の外表疾患の治療」について詳しい説明があった。また、トークショーでは、ゲストに山田優子さんをお迎えして五孔会会長の野上兼一郎先生と耳に関するお話を聞かせていただいた。今年もおおよそ200名近くの方にご来場いただいた。</p> <p>2. 北九州耳鼻咽喉科専門医会では、平成25年3月3日（日）に「いろいろな難聴一特に治りにくい難聴」と題し、北九州総合病院耳鼻咽喉科診療部長 上田成久先生に、また「難聴者の緊急時の利用について」と題し、戸畑消防署課長 井上勝芳氏にもご講演いただいた。今年も難聴者の方々の日常生活における悩みを解決する方法について分かり易くお話いただいた。来場者は78名の方が訪れた。</p>	<p>1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会では、本年度より新たに太宰府市・篠栗町・志免町・須恵町の広報誌、平成25年2月20日（水）朝日新聞、2月21日（木）毎日新聞に掲載された。また、昨年に引き続き2月28日（木）読売新聞、2月27日（水）西日本新聞・健康欄、福岡市・筑紫野市・大野城市のホームページ・市政だより、アクロス福岡情報誌にも掲載された。</p> <p>その他、公民館、薬剤師会、補聴器販売店、NPO福岡中失聴者支援福祉協会、福岡県言語聴覚士会を通して、パンフレットを配布し、ポスター掲示を行った。また、福岡市役所1階の情報プラザ、アクロス福岡2階の文化観光情報ひろば・福岡市の市民福祉プラザ・健康づくりセンター・総合図書館にパンフレットを配布した。</p> <p>2. 北九州耳鼻咽喉科専門医会では、北九州市市政だより、福祉施設・耳鼻咽喉科医院・認定補聴器専門店などに案内文を掲載した。</p>
佐賀県	<p>無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成25年3月3日（日）11:00～12:00 場所：唐津市高齢者ふれあい会館 りふれ2F研究室3 内容：佐賀大学耳鼻咽喉科医師による問診・診察・相談。場合に応じ聴力検査、補聴器相談。 相談者数：9名</p>	なし	<p>1. 平成25年3月3日（日）付《佐賀新聞》に第58回「耳の日」広告を掲載。</p> <p>2. 唐津市が発行する《市報からつ》2月号（平成25年2月1日（金）発行）に「耳の日」無料相談会の案内を掲載。</p>
長崎県	<p>右記講演会において無料相談会を行った。</p> <p>日時：平成25年3月3日（日） 場所：メルカつきまち5階ホール 内容：補聴器、人工内耳について</p>	<p>第16回公開講座を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成25年3月3日（日） 場所：メルカつきまち5階ホール 内容： 1. 人工内耳のはなし ・家族から見た人工内耳 ・最新の人工内耳： 日本コクレア社、メドエルジャパン社 2. パネルディスカッション 「軽度・中等度難聴をめぐって」</p>	<p>1. 西日本新聞社：耳の日公開講座&相談会のお知らせ。</p> <p>2. 朝日新聞社：耳の日公開講座&相談会についての取材。</p> <p>3. KTNテレビ長崎：耳の日公開講座&相談会のお知らせ、及び、当日の公開講座&相談会の夕方ニュース報道。</p>
熊本県	なし	<p>一般向けの講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成25年3月23日（土）13:00～16:00 場所：小川総合文化センター・ラポート 研修室 内容：「人工内耳について」 人工内耳装用者の体験発表 質疑応答 講師：養田涼生 （熊本大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 主催：日本耳鼻咽喉科学会熊本県地方部会 共催：熊本大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 熊本県難聴者中途失聴者協会 参加者：約50名</p>	なし
大分県	<p>平成25年3月3日（日）、10:00～13:00までトキハわさだタウン（大分市）において第13回耳の日無料相談会を開催した。110名の相談者があった。</p>	なし	<p>平成25年3月2日（土）、大分合同新聞に耳かきについての記事を掲載した。</p>

宮崎県	平成25年3月2日(土)の15:00～17:00までの2時間、無料相談会を実施した。7つの一般相談ブース、1つの補聴器相談ブースを作り、日耳鼻専門医の医師及び言語聴覚士で対応した。計91名の来場者を集める事ができ、例年同様盛況のうちに行えた。来場者へのアンケートでは好評な意見を多数いただいた。相談件数としては難聴の相談が多かった。	平成25年3月2日(土)の14:00～15:00までの1時間、無料講演会を実施した。「老人性難聴の上手な付き合い方・補聴器の購入と使用方法」、「ここまで治る!あなたの難聴」と題して2講演を行った。熱心にメモをとって聴講される方も多く、大変好評であった。	県内の主要マスコミへのプレスリリースや新聞広告による宣伝、補聴器販売店舗での宣伝活動協力、県の健康づくり協会での保健師や学校教諭等への宣伝活動協力をいただいた。
鹿児島県	なし	第6回耳の日ならびにアレルギー週間公開講座を以下の要領で行った。 日時:平成25年3月3日(日) 13:00～14:10 場所:鹿児島県医師会館 内容: 1. 補聴器を上手に使うためのとっておきの知識 川島雅樹(鹿児島大学耳鼻咽喉科) 2. 聞こえが甦る人工内耳の最新情報 大堀純一郎(鹿児島大学耳鼻咽喉科) 3. 聞いて得するアレルギー性鼻炎・花粉症の医療最前線 宮之原郁代(鹿児島大学耳鼻咽喉科)	生活情報誌(リビングかごしま)に公開講座の案内を掲載。
沖縄県	平成25年3月3日(日)、「沖縄県男女共同参画センターている」において市民公開講座耳の日講演会に併設する形で耳の日無料相談を実施した。	平成25年3月3日(日)、「沖縄県男女共同参画センターている」において市民公開講座耳の日講演会を開催した。講演内容は①耳からくる「めまい」 ②正しく知ろう中耳炎 ③聞こえを取り戻すの三講演を行った。参加者は50名であった。	なし